

センターだより第15号
令和6年9月18日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規実施項目について(お知らせ)

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目におきまして新規受託開始の連絡がありましたのでご案内いたします。
今後とも当臨床検査センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

■ 実施日

2024年 10月1日(火)

■ 新規受託項目

項目コード (4桁コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 製品名、薬剤名等
2548800 (6149)	ブリーバラセタム 3L2530000022205	血漿 0.3	F (PH5)	冷蔵 (28日)	3~10	特	LC/MS/MS	($\mu\text{g}/\text{mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	裏面参照 ※S

特：特定薬剤治療管理料

臨床検査センターに関するお問合わせやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
鹿児島市医師会臨床検査センター 電話：099-226-8827

● ブリーバラセタム

抗てんかん薬であるブリーバラセタムに関する血中濃度を測定する検査です。

ブリーバラセタム(商品名:ブリエビアクト®)は、「てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)」を効能・効果として2024年6月に製造販売承認、同年8月に薬価収載された新しい抗てんかん薬です。

ブリーバラセタムは、脳内の神経終末にあるシナプス小胞タンパク2A(SV2A)に結合することにより作用を発揮する薬剤であり、同様の作用機序を持つレベチラセタムと比較してSV2Aに対し高い親和性を示し選択的に結合することから、その発作抑制作用が期待されています。

本検査は、LC/MS/MSによりブリーバラセタムの血中濃度を測定いたします。血中濃度のモニタリングは、服薬コンプライアンスの評価や薬物相互作用による影響の確認、投与量の調整を行う際の指標となります。

▼疾患との関連

てんかん

▼関連する主な検査項目

レベチラセタム

▼検査要項

検査項目名	ブリーバラセタム
項目コード (旧項目コード)	254880 (6149)
検体量	血漿 0.3 mL
容器	F (PH5:ヘパリン)
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3～10 日
検査方法	LC/MS/MS
基準値(単位) (治療濃度範囲)	($\mu\text{g/mL}$)
採血時刻	次回投与直前(Trough濃度)
報告範囲(単位)	0.10未満、0.10～99999.99($\mu\text{g/mL}$)
桁数	有効7桁、整数5桁、小数2桁
検査実施料/判断料	特定薬剤治療管理料 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
備考 (製品名、薬剤名等)	ブリエビアクト 採血後、3時間以内に血漿分離してください。 3時間以上の場合、低値となる可能性があります。

※S

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われれます。

●参考文献

Mohamed S, et al: Ther Drug Monit 42(3):445～451, 2020. (検査方法参考文献)

Feyissa AM: Neuropsychiatr Dis Treat 15:2587～2600, 2019. (臨床的意義参考文献)

以上